



3年ぶりに開催された区民まつり（10月15日、16日）

### 令和4年第3回定例会（9月22日～10月28日）

## 令和3年度一般会計決算及び4特別会計決算を認定

主な掲載内容	面
 議案・陳情等の審議結果	2
 一般質問（要旨） 区政全般に対して行われた質問を紹介	3 ～ 5
 決算に対する総括質問（要旨）	6
 決算の概要 決算に対する討論（要旨）	7
 議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、15名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました（要旨を3～5面に掲載）。
- 令和4年度一般会計補正予算（第3号、第4号、第5号）など区長提出議案28件を可決しました。議員提出議案は1件を可決し、1件を否決しました（詳細は2面、8面に掲載）。
- 陳情は1件を採択、5件を不採択とし、その他は継続審査としました（詳細は2面に掲載）。
- 区長から提案された人権擁護委員候補者の推薦に適任との意見を付しました。

### 令和3年度決算の調査の経過

- 本会議3日目（10月11日）に、令和3年度一般会計及び4特別会計の決算について区長から報告がありました。
- 区議会では、全議員により構成する「決算調査特別委員会」において、延べ6日間にわたり集中的に調査を行いました（総括質問の要旨を6面に掲載）。
- 本会議最終日（10月28日）に、決算調査特別委員長が調査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和3年度決算を賛成多数で認定しました（討論の要旨を7面に掲載）。

### 令和4年第3回臨時会（7月22日）

- 区長から提出された令和4年度一般会計補正予算（第2号）及び議員提出議案1件を可決しました（詳細は2面、8面に掲載）。



○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。  
○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。



# 一般質問

9月22日  
9月26日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆一般質問の全文(会議録)は、12月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



荒川 なお

(共産党)



## 核兵器禁止条約への参加を求めて

【質問】核兵器禁止条約が核兵器不拡散条約(NPT)の再検討会議に与えた影響について、区長の認識は。

【区長】核兵器の拡散防止や核軍縮の促進に向け、有意義な検討が進められたものと認識している。

【質問】政府に核兵器禁止条約への参加を求めるべき。

【区長】条約の批准などの外交政策は政府が判断すべき事項であり、引き続き、動向を見守っていく姿勢である。

## 気候危機打開に向けた取組みを問う

【質問】区内の再開発事業において計画されている建築物は、年間消費エネルギーゼロ基準のものか。

【区長】各再開発事業で計画されている建築物の年間消費エネルギーは、区では算定していない。計画される建築物は、建築物省エネ法や都市開発諸制度活用方針などに基づき、環境負荷の低減を実現



竹内

愛

(共産党)



## 安倍元首相の国葬を問う

【質問】弔旗・半旗の掲揚や黙とうなど、区民や職員に弔意を強制してはならないと考えるが、区の見解は。

【区長】区としては、国葬儀とした趣旨に鑑み、特段の対応は予定していない。

## 財政運営について問う

【質問】特別区交付金の増やイベントの縮小などにより、4年度予算においても余剰財源が生じると考える。見解は。

【区長】コロナ禍による事業の中止や縮小に加え、契約差金などもあり、一定の不用額が生じると見込んでいる。

【質問】シーリングによる予算削減により、区民生活に密着した予算が削減されてきた。シーリングの見直しを。

【区長】5年度の予算編成にあたっては、緊急財政対策で行ったシーリングを実施しない方針である。

## 放課後等デイサービスの質の向上を求めて

【質問】報酬単価の引下げにより、サービスの質の低下が懸念される。区として実態調査を行うべき。

【区長】事業所連絡会を開催し、情報共有や連携を進めるとともに、サービス状況の実態把握に努めている。

## 地域課題について問う

【質問】高島平地都市再生実施計画における連鎖的都市再生の範囲は。

【区長】二丁目団地の33街



渡辺 よしてる

(民主クラブ)



## 特別支援学級におけるICT技術の活用について問う

【質問】子どもの特性に合わせたICT技術の柔軟な活用について、今後の見通しは。

【教育長】4年度から、小中各一校でICTを活用した指導事例の作成などを行っている。今後は、その成果を横展開し、子どもの多様な特性に応じた指導が行われるよう、柔軟な活用を推進していく。

## 学校での生理用品設置を問う

【質問】女子トイレへの生理用品設置のモデル校について、期間や今後の見通しは。

【教育長】私立幼稚園に対して、バス乗り降りの人数確認や共有方法、マニュアルの整備などの調査を実施し、安全管理の徹底を各園に促す。以上のほか、学校給食、産後、子育て制度、北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動について質問があった

かなざき 文子

(共産党)



## 介護事業所などの支援強化を

【質問】新型コロナウイルスの陽性者が発生し、休業などを余儀なくされた場合は、減収を補填する措置を求める。見解は。

【区長】感染症への対応で臨時的に必要な費用については、都による事業者支援が継続的に実施されている。また、雇用調整助成金などの補償もあり、区は制度の幅広い周知及び活用を促している。

## 新型コロナウイルス感染拡大対策としての協力金について問う

【質問】協力金が収入認定されたため、税や各種保険料、医療機関での窓口負担が莫大なものになっている。減免措



おばた 健太郎

(民主クラブ)



## 防災士資格取得への助成制度の導入を

【質問】他自治体では防災士資格取得への助成制度があるが、区での導入の可能性について伺う。

【区長】まずは、防災リーダーのさらなる拡充を図り、地域における活動を促進する助成制度については、今後研究していく。

## 手すり設置助成を求めて

【質問】私道整備助成・私道排水設備助成に加え、私道の手すり設置について、新たに助成制度を創設すべき。

【区長】高齢者などの安全や移動の安全性の確保の必要

改訂に合わせて取得時期などを調整する予定。地域における集会所機能の確保に向けて検討していく。

【質問】栄町19番遊び場を活用できるよう、都との協議を急ぎ、集会所を設置しては。

【区長】次のNo.1実現プラン



小野田 みか

(自民党)



## 太陽光パネル設置の義務化について問う

【質問】中国製太陽光パネルの生産過程における人権問題について、調査・整理してから制度を推進するよう都に提案すべき。

【区長】区の調査能力では、その真偽を確かめることは困難。国連の調査結果や国の見解を受け、都とともに認識を共有すべきと考える。

【質問】ライフサイクルアセスメント手法を活用し、原

(4面に続く)



栄町集会所

3面から続く

材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでの環境負荷を明らかにして、制度を進めるように提案すべき。

【区長】都は、太陽光パネルのライフサイクルで消費するエネルギーが、設置によって生産されるエネルギーよりも大まかに3年で回収できるとしている。

【区長】ハウスメーカーに説明を求めよう都に伝える。【区長】義務化によって、区の緑化政策が縮小することのないよう取り組むべき。

【区長】今般、緑化基準を改定し、地域特性や生活スタイルに合った緑化手法が選択できるような見直し。今後、実効性のある施策を適時的に展開していく。



安井 一郎

【自民党】

【区長】たばこを吸う方が吸わない方が共存できる社会が望ましいと考えるが、区の見解は。【区長】双方が互いに配慮し、共存できるような状況を整備していくことが重要と考える。

【区長】糞害による衛生上の問題に加え、感染症による健康被害の懸念があることは認識している。

【区長】4年度から「登録猫ボランティア事業」を開始し、解決に向けて動き出したことから、まずは進捗状況を注視していく。

【区長】ハトへの餌やり防止のための掲示物を作成し、ホームページに掲載するほか、苦情の多い現地に掲示していく。



杉田 ひろし

【自民党】

【区長】開設予定が5年3月から8年度末に変更された施設の早期開設。

【区長】少しでも早く施設整備が実現するよう、事業の見直し、再公募に向けた準備を進めている。

【区長】給本がつなぐ「もりのづくり」と「文化」のまち



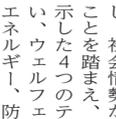
いしだ 圭一郎

【公明党】

【区長】視覚障がい者の日常生活の利便性を図るため、眼鏡装着型音声読書機を日常生用具として配布する。【区長】日常生活用具の選定については、障がい者からの要望をもとに検討を行っている。今後、要望があれば、利便性を確認し、給付について検討する。

【区長】人工呼吸器以外の電力を必要とする医療機器に關しても、重度障がい者に非通用電源装置を給付できるように要件を緩和すべき。

【区長】今後、医療機器を利用している方の実態把握に努め、他区の出組み状況を踏まえ、検討を行っていく。



川口 雅敏

【自民党】

【区長】策定後7年が経過し、社会情勢が変化していることを踏まえ、将来像として示した4つのテーマ(にぎわい、ウェルフェア、スマートエネルギー、防災)の変更や追加を検討すべき。

【区長】4年度に策定した高島平地域都市再生実施計画では、4つのテーマに沿って都市再生への導入イメージを整理した。今後、社会情勢の変化に応じた視点を柔軟に取り入れていく。

【区長】特別区の児童相談所の設置が完了する時期は。【区長】現在、設置しているのは6区である。練馬区を除く22区が設置を表明しているが、時期を表明していない区もあり、現時点で回答できる状況ではない。

【区長】都の役割分担はどのようになっているか。【区長】児童相談所業務全般を区が担っている。施設入所など広域に係る業務については、都の役割分担などを定め対応していく。

【区長】児童相談所が本来実施すべき業務を、すべて実施できているのか。【区長】国が定める相談の受け付け、相談援助活動、家庭・地域に対する援助の展開など、の実現に向け、区政をどのような方針で進めていく考えか。【区長】子育てのしやすさが定住を生む教育環境都市を健康長寿のまちづくり、未来へつなぐまちづくりをさらに展開していく。

【区長】区が進めているプラスチック資源循環促進法について。【区長】法律に基づき、プラスチック製品の分別回収の実施に向け、体系的な収集方法を検討し、具体的な取組を進めている。併せて、資源化についても、着実に実施していく。

【区長】今般の児童福祉法改正を踏まえた既存事業のさらなる見直し、新たな子育て支援サービスの導入を検討する中で、ドゥーラ事業も含めて検討していく。

【区長】4年9月から地域センターに貸出用のモバイルリーダーが配備された。今後、さらに文化会館などの施設でのWiFi環境の拡充を求め、見解は。

【区長】各施設でのWiFi環境に関するニーズを把握するとともに、建物状況に応じた最適な整備方法を調査するなど、費用対効果を踏まえて検討していく。

【区長】防災備蓄などの食料をはじめ、備蓄品を長期保存可能な製品を見直す。【区長】今後、備蓄品の最適化計画を見直す予定であり、備蓄品のあり方を検討していく中で、新たな備蓄物資のほか、既存製品の量と質、トータルコストの最適化も意識して改定を行う予定である。



五十嵐 やす子

【社民党】

【区長】旧統一教会について区民から不安や心配の声が寄せられている。区政との関わりについて、早急に調査を行うべき。

【区長】現在、寄付の受領や施設の利用などの調査を進めている。今後の対応については、調査結果を確認したうえで検討していく。

【区長】安全性的評価が分かっているゲノム編集トマト。【区長】区財政にどのような影響を与えると予測するか。【区長】歳入面では、法人住民税などを原資とする特別交付金などの影響など、歳出面では、区施設における光熱費など、物価高騰の影響が広範に及ぶことが懸念される。

【区長】脱炭素化を進めるため、4年9月から宅配ボックス助成事業を始めた。また、3年度から開始した環境アクションポイント事業を使いやすしいものに改善しつつ、意識・行動の変化を引き出し、脱炭素化を進めることをめざす。

【区長】脱炭素化を進めるため、4年9月から宅配ボックス助成事業を始めた。また、3年度から開始した環境アクションポイント事業を使いやすしいものに改善しつつ、意識・行動の変化を引き出し、脱炭素化を進めることをめざす。

【区長】脱炭素化を進めるため、4年9月から宅配ボックス助成事業を始めた。また、3年度から開始した環境アクションポイント事業を使いやすしいものに改善しつつ、意識・行動の変化を引き出し、脱炭素化を進めることをめざす。



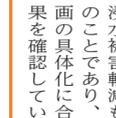
鈴木 こうすけ

【公明党】

【区長】死亡届に伴う手続きの負担軽減のため、おこみやみコーナーを設置すべき。【区長】設置に向けて他区の状況などを調べており、遺族の視点に立った、わかりやすい各種手続きの案内と、きめ細かな情報提供など周知を進めていく。

【区長】本庁舎1階には外国籍の方や障がいのある方など、支援を必要とする多様な方々が訪れる。総合案内窓口における新たな窓口サービスについて、見解は。

【区長】4年11月から、英語や中国語など16言語のほかに内容を検討する際は、地域に示したうえで決定すべき。【区長】運営面も含めて交通公園としての魅力づくりをめざすとともに、ワークショップも活用し、地域の方々とともに、使い勝手の良い公園づくりも追求していく。



南雲 由子

【無所属議員】

【区長】企業が活性化センターでは、中小企業の経営課題などに関する総合的な支援に对应するため、経営改善チームなど導入したツールが十分に活用されるよう学校への支援が重要。端末の更新などのタイミングで、利便性を高める検討も併せて進める。

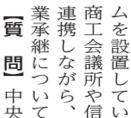
【区長】小学校低学年の不登校児童数は増加傾向にあるが、フレンドセンターの利用対象は4年生以上である。区における対応策は。

【区長】各学校では、児童一人ひとりの実態に応じて、校内に教室以外の居場所をつくることやオンライン授業の配信を行うことなど、支援の充実を図っている。

【区長】都内には24か所、豊島区にも2か所ある。区内にも設置を求めているが、見解は。

【区長】他自治体のようにバス停型乗合タクシーなどの導入を行い、地形の高低差が激しい地域への移動支援を考えるべき。

【区長】今後、さらに進む少子高齢化も踏まえ、外出しやすしい交通環境の実現に向けて、様々な移動方法の可能性を研究していく。



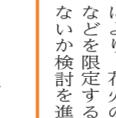
達也

【無所属議員】

【区長】地域経済の持続的発展に向けた産業支援、未来を担う子どもたちのための子育て環境及び教育活動の充実については、今後の予算編成において重点的に取り組む。

【区長】脱炭素化を進めるため、4年9月から宅配ボックス助成事業を始めた。また、3年度から開始した環境アクションポイント事業を使いやすしいものに改善しつつ、意識・行動の変化を引き出し、脱炭素化を進めることをめざす。

【区長】脱炭素化を進めるため、4年9月から宅配ボックス助成事業を始めた。また、3年度から開始した環境アクションポイント事業を使いやすしいものに改善しつつ、意識・行動の変化を引き出し、脱炭素化を進めることをめざす。



ひろみ

【無所属議員】

【区長】図書館などのWiFiを区民が利用できる区立施設に指導員を配置し、学校に行きづらい子が学べる場の一つとして充実させるべき。

【区長】居場所づくりについては、単に物理的な場所や設備だけではなく、支援にあたる人材の配置も重要。配置には継続的に多額の経費を要することが想定されるため、必要性や見込まれる効果などを精査し、検討を重ねていく。

【区長】他自治体のようにバス停型乗合タクシーなどの導入を行い、地形の高低差が激しい地域への移動支援を考えるべき。

【区長】他自治体のようにバス停型乗合タクシーなどの導入を行い、地形の高低差が激しい地域への移動支援を考えるべき。

【区長】他自治体のようにバス停型乗合タクシーなどの導入を行い、地形の高低差が激しい地域への移動支援を考えるべき。

【区長】他自治体のようにバス停型乗合タクシーなどの導入を行い、地形の高低差が激しい地域への移動支援を考えるべき。

おとしよりなんでも相談 4月から 24時間体制に拡大します

おとしよりなんでも相談 4月から 24時間体制に拡大します



### 令和3年度決算に 対する総括質問(要旨)

10月24日  
~26日  
決算調査  
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、12月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

### 大野 治彦

(自民党)

**上板橋二中旧校舎の維持管理を問う**

問 樹木剪定や風通しを良くするなど、環境保全に努めるべき。

答 枝の剪定や除草作業を行うなど適切に管理している。引き続き環境の保全に努め、

### 内田けんいちろう

(自民党)

**人口減少社会の到来に備えたまちづくりを求めて**

問 区の強みはどこにあると捉えているか。

答 地域活動や文化活動が盛んであること、子育てしやすい環境であること、産業都市であることなどが挙げられる。

**交通利便性の向上を問う**

問 東武東上線の駅周辺バス停とバスの行先がわかるデジタル連携マップの作成経緯は。

答 バス路線の存在やバス停の位置を知らない方が非常に多く、これが一番の課題と認識し、作成した。

**公園・公衆トイレを問う**

問 使われていないトイレの問題点を調査・分析すべき。

答 具体的な手法や対策方法など、客観的に区民の理解が得られるような方法論を確立することが必要であり、研究を進めていく。

### さかまき 常行

(公明党)

**ひきこもり支援について問う**

問 経験やスキルのある民間の支援団体と協働し、持続可能な支援体制を構築すべき。

答 官民連携のプラットフォームを構築するなど、他自治体の事例も参考に、持続可能な支援体制を構築していく。

**EVB(エフビイ)について問う**

問 事業の今後の展開は。

答 都は実証実験の結果を踏まえて、

### 田中 やすのり

(自民党)

**いたばしPayの活用を問う**

問 行政ポイント機能の追加や、区施設での支払いを可能とするなど、地域通貨としての利用の幅を広げるべき。

答 いたばしPayが店舗でも区役所でも気軽に利用できるような地域通貨に成長するよう積極的に支援していく。

**区立保育園のオンライン化を問う**

問 スマホで延長保育の申込みができるようにすべき。

答 今後、延長保育の予約に不便さを解消・代替できるような支援メニューの検討を、可能な限り情報を集約し、支援のメニュー化に取り組みたいと考えている。

**「絵本のまち板橋」を全国的に発信するために**

問 ふるさと納税制度を活用し、絵本を返礼品にしては。

答 「絵本のまち板橋」を全国的に発信できるアイデアであると考えるため、今後、関係部署と検討を深めていく。

**区民サービスの向上を求めて**

問 ICTを活用し、障がいのある方が居住地域に関わらず、最寄りの福祉事務所で手

まえ、実施区域を23区に広げ、4年11月から事業を開始する予定。区としては、3年度と同様に、バッテリー交換スポットを提供する予定。

**eスポーツ大会の開催を問う**

問 eスポーツアリーナなどの環境を持つクラーク記念国際高等学校と連携し、eスポーツ大会を開催しては。

答 大会の早期開催に向けて連携し、検討を進めていく。

**フラフトビルの新たな地域資源ブランドへ**

問 史跡公園周辺の回遊性構築などの一環として、クラフトビルを活用すべき。

答 関係機関などと丁寧に協議を行いながら、実現の可能性も含めて検討していく。

### しば 佳代子

(公明党)

**おくやみコーナーを問う**

問 以前より要望し、今後設置されるが、具体的な内容は。

答 可能な限り申請書に基本情報を印字するほか、他の所管に相談内容をつなぐなど、スムーズな支援を進めていく。

**高校生等医療費無償化を問う**

問 区単独で実施できたのか。

答 年間約3億円を自主財源により負担し続けるなど、実施は難しかったと考える。

**ひきこもり支援について問う**

問 都が事業を委託している青少年健康センターの活用を、答 センターとの関係を継続していくとともに、他の事業者にも確認し、5年度に向けて事業化を検討していく。

**板橋キャンパス跡地を問う**

問 障がい者福祉施設の開設が延期された。今後の対応は。

答 今回の反省を踏まえ、安定かつ継続した事業計画の検討など、事業者に配慮する。

### 山田 ひでき

(共産党)

**庁有車のZEV化を求めて**

問 すべての庁有車をCO2などの排出ガスを出さない車両(ZEV)にすべき。

答 現在、計画している19台以外の車両については、次期計画策定時に検討を進める。

**住宅困窮者への支援を求めて**

問 国交省が開発・配布するプログラムを活用し、住宅確保要配慮者の数を推計すべき。

答 現時点では、推計していく予定はない。

**志村小地域の災害対策を問う**

問 志村小が移転することで、近隣の避難行動要支援者の避難が困難にならないか。

### 吉田 豊明

(共産党)

**区内中小企業へ直接支援を問う**

問 長引くコロナ禍に加え、原油・原材料価格の高騰により、中小企業は深刻な影響を受けている。事業継続支援金などの直接支援を実施すべき。

答 現在の原油高・原材料高や急激な円安への対策は、広範囲な権限をもつ国や都が責任をもって行うべきと考える。

**公契約における労働環境の向上を求めて**

問 新たに要綱を制定することにより、どのようなことが可能になるのか。

答 区が発注する公共工事などにおける労働環境の確認を

**高島平三丁目の交通島を問う**

問 交通島を設置した理由は、答 地域住民の要望もあり、横断歩道の視認性の向上などの対策を実施してきたが、警察署から提案のあった交通島方式を試行する運びとなった。

### 高沢 一基

(民主クラブ)

**学校管理職向け研修を問う**

問 管理職の能力を高めるため、区独自の研修実施を。

答 研修の充実が必要と認識。管理職の負担軽減にも配慮しつつ、研修テーマや実施方法を精選して一層の充実を図る。

**中学生の部活動対外行事への参加に要する経費の改善を問う**

問 区職員や教職員と同様に航空賃を認め、子どもに寄り添った運用とするため、生徒旅費要綱を改正すべき。

答 現要綱に基づき支給されるべきであると考えているが、さまざまな方法を幅広く検討していく必要があると考えている。

**円滑な避難については、**

問 行方不明で、適正な労働条件の確保につなげていくことが可能になると考えている。

### いらい 桐子

(共産党)

**障がい者雇用について問う**

問 区役所で就労経験を積む場を提供するチャレンジ就労の採用人数を増やすべき。

答 今後、採用人数を拡充する方向で、検討を進めていく。

**ペット同行避難について問う**

問 避難所でもペットと一緒に過ごせる場所を確保すべき。

答 においや鳴き声、動物アレルギーなどの課題があるため、一緒に過ごす同伴避難は困難と認識している。

**西高島平駅周辺の自転車駐車場の整備状況を問う**

問 今後、当日利用分が不足が生じた場合、増設できるか。

答 現状では、ホームページやアプリなどを活用し、なお一層の広報活動に努めていく。

### 中妻 しようた

(民主クラブ)

**ふるさと納税について問う**

問 返礼品型ふるさと納税の実施と拡大に踏み切るべき。

答 4年度は、試行的に板橋Cityマラソンの出走権などを返礼品とした。引き続き、区の魅力発信につながる返礼品を検討していく。

**スピーキングテストを問う**

問 入試への活用には問題があるべきであると考えているが、まずは研究する。

### 井上 温子

(無所属)

**小学生の児童館利用を問う**

問 小学生の利用を妨げている利用申請書を廃止し、気軽に遊べるようになったことを周知すべき。

答 感染症対策の観点から、周知の時期は検討していく。

### 五十嵐 やす子

(社民党)

**新型コロナワクチンの副反応報告について問う**

問 区内で80件以上の報告がある。区民に周知すべき。

答 今後、健康被害として認定されたものについては、公表方法を検討していく。

### 長瀬 達也

(無所属議員)

**外国人観光客誘致とシティプロモーションについて問う**

問 外国メディアなどを活用したプロモーションをすべき。

答 現状では、ホームページやアプリなどを活用し、なお一層の広報活動に努めていく。

ある。都に意見を述べるべき。答 意見を述べる立場ではないが、受験生が安心して入試に臨めるよう、都への質問を継続しつつ、注視していく。

**南雲 由子**  
(無所属議員)

**待機児童ゼロ後の保育を問う**

問 小規模保育園の供給目標量を明確に定め、経営支援を。

答 ゼロ歳児の欠員に対する運営費助成や保育需要に応じた利用定員の変更など、今後も運営を支援していく。

**しいなひろみ**  
(無所属議員)

**徳丸三丁目の日本郵便所有の官舎跡の活用について問う**

問 防災機能も兼ねたインクルーシブ公園を設置すべき。

答 活用方針など、所有者から情報収集などを続けている。引き続き、意向を把握する。

**こんどう 秀人**  
(無所属議員)

**新型コロナワクチン接種記録について問う**

問 区における関連文書の保存期間は。

答 2年4月に保存期間を10年と定め、保管後10年ごとに見直すこととしている。

**高山 しんご**  
(無所属議員)

**住民防災組織格納庫内の防災資機材について問う**

問 救急箱の適切な管理・更新については、今後の展開は。

答 住民防災組織に対し、これまで以上に周知を行うことで、適正な管理を促していく。

# 令和3年度

# 決算の概要と決算に対する討論(要旨)

令和3年度  
各会計  
歳入歳出  
決算

会計名	予算現額	歳入	歳出
		決算額	決算額
一般会計	2,619億5,398万1,000円	2,622億3,688万1,775円	2,495億456万9,987円
特別会計	国民健康保険事業	565億5,599万1,572円	556億4,389万5,291円
	介護保険事業	451億6,856万8,253円	436億5,513万8,353円
	後期高齢者医療事業	124億544万833円	122億4,611万4,249円
	東武東上線連続立体化事業	9,023万5,985円	7,591万5,988円

## 共産党 反対 一般会計、4特別会計

コロナ禍の中で浮き彫りになった問題を踏まえ、区民の命と暮らしに寄り添った財政運営を

- 区の財政運営は、再開発事業と基金の積立で優先され、区民の暮らしに寄り添っていない。削減すべきは、高齢者や障がい者への補助金ではなく、まちづくりに係る補助金である。
- 子ども、障がい者、高齢者などの社会的弱者や、地域経済の要である中小企業への支援策が不十分である。緊急事態の時には、区民の暮らしや中小企業を支える思い切った対策が必要。

- 3年度をもって、いこいの家が廃止された。高齢者の地域における居場所を奪うことは、自治体としてあるまじき姿勢である。
- 特別養護老人ホームの民営化の準備が進められている。公的責任を後退させないため、民営化の中止と独自の負担軽減策を実施すべき。
- コロナ感染拡大の下では、保健所や福祉事務所の体制強化が必要。職員の配置を増やすべき。

## 自民党 賛成 一般会計、4特別会計

新たな行政の分析手法を積極的に取り入れ、一層区民に寄り添った区政の実現を

- 実質待機児童がゼロとなったが、小規模保育園をはじめ、定員未充足が生じている施設が顕在化した。待機児童対策の抜本的見直しが必要。
- 電子教材の活用、リモート教育の拡充などを踏まえ、アフターコロナ・ウィズコロナにおける教育のあり方が問われる時代となる。効果的な教育環境の整備に向け、さらなる努力を。
- ひきこもり対策の一層の推進を求める。

- キャッシュレス決済ポイント還元事業やプレミアム付商品券事業が展開され、コロナ禍により停滞する区内経済の活性化の一助となった。
- 地域の防犯力を高めるため、防犯カメラの維持管理経費の全額負担を、国や都に継続して要望すべき。
- まちづくりにおいては、各地域の個性に十分に配慮した事業展開を求める。

## 社民党 賛成 一般会計、国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業特別会計 反対 東武東上線連続立体化事業特別会計

住民福祉のさらなる増進という役割を果たし、区民の気持ちに寄り添う区政運営を

- デートDV防止の取組みは被害を減らすことにもつながる。加害者にしない、させないという取組みの大切さを区は改めて認識すべき。
- ダイバーシティ&インクルージョンを掲げる区として、早急にアクティブプランの改善を求めるとともに、言葉だけでなく、中身の詰まった人権政策へと変換することを求める。
- 再開発事業ではなく、既にあるまちの魅力に

- 目を向け、そこにプラスし、区民が誇りを持つブランド戦略を。
- 財政調整基金は「いざという時」のためのもの。コロナ禍の今は、基金を積み増すのではなく、区民に寄り添った政策のために活用すべき。
- 再開発・都市開発などのハード面での充実よりも、「住民福祉の充実」でまちを活性化する板橋へと、政策転換することを強く要望する。

## 公明党 賛成 一般会計、4特別会計

激変する社会経済情勢や財政状況を的確に認識し、行政の質の維持向上を

- 子ども家庭総合支援センターの開設に先立ち、子どもなんでも相談や児童虐待相談受付業務などを先行実施したことは高く評価する。
- 子どもの貧困対策に係る施策の検討に活用すべく、実態調査を実施したことを評価する。
- 板橋区スマートスクールプロジェクトの策定を高く評価する。今後、不登校対策におけるオンライン授業の実施などきめ細かな対応を。

- 経営安定化特別融資における利子補給及び信用保証料助成の実施は、区内の中小企業に寄り添う重要な支援として高く評価する。
- 二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向け、あらゆる主体と連携・協働し、社会全体の自主的な行動変容を促すことを強く求める。
- 東武東上線のホームドアの早期設置について、スピード感をもって関係機関に働きかけを。

## 民主クラブ 賛成 一般会計、4特別会計

子育て支援の強化と積極的な財政出動による経済対策を

- 児童虐待相談は電話のみならず、LINEなどのSNSツールの拡大を求める。
- 待機児童の解消は評価する。次の目標として保育の質の向上や休日保育の拡充を。
- 区立保育園2園において医療的ケア児の受入れを開始したことを高く評価する。受入年齢の引下げや支援制度の枠に入らなかった医療的ケア児へのサポート体制の確立を求める。

- マタニティケアの充実、安心して出産・子育てがしやすいまちをめざし、「いたばし版ニューボラ事業」の切れ目のない子育て支援や妊婦に寄り添った支援などの強化を強く求める。
- コロナ後を見据えた積極的な財政出動による経済対策を行うよう求める。
- より強固な災害対応のために危機管理部門に退職幹部自衛官の採用を強く求める。

# 議会トピックス

## 長崎市平和祈念式典への参列

8月9日に77回目の「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が開催されました。

板橋区議会を代表して茂野善之、杉田ひろし、大田ひろし、山内えり、五十嵐やす子の5名の議員が参列し、多くの犠牲者の御霊に哀悼の意を表するとともに、世界の恒久平和を祈りました。

悲惨な原爆の記憶を風化させず、核兵器のない平和な世界の実現をめざすため、板橋区議会の代表が長崎で開催された式典に参列しました。



## 常任委員会 行政視察

各常任委員会が、他の自治体の先進事例について調査・研究するため、下記のとおり行政視察を実施しました。

### 企画総務委員会

●北海道千歳市(7月27日)

シティセールス戦略プランの取組み及び効果について視察を行い、各委員からはSNSの活用状況や取組み、人口増加の関連性などについて質問がありました。

●北海道札幌市(7月28日)

パートナーシップ宣誓制度の運用状況などについて視察を行い、各委員からは導入の背景や他自治体との連携拡充の意義などについて質問がありました。



### 区民環境委員会

●北海道北斗市(8月17日)

商店街等元気づくり事業補助金について視察を行い、各委員からは開業した事業主の成功事例や市外からの転入者の目標値などについて質問がありました。

●北海道函館市(8月18日)

函館市地域交流まちづくりセンターについて視察を行い、各委員からは現指定管理者がセンターを運営する強み、町会との関わり方などについて質問がありました。



### 健康福祉委員会

●富山県富山市(8月2日)

多様な世代へ福祉サービスを提供するまちなか総合ケアセンターの取組みについて視察を行い、各委員からは産後ケア応援室の受入体制などについて質問がありました。

●富山県射水市(8月3日)

在宅療養者のための多職種連携支援システム(ICTツール)の運用について視察を行い、各委員からは歯科医師との連携に向けた取組みなどについて質問がありました。



## 令和4年第4回定例会の開会予定

11月17日(木)	告示、議会運営委員会
11月28日(月)	本会議(一般質問)
11月29日(火)	本会議(一般質問)
12月1日(木)	企画総務委員会 区民環境委員会 健康福祉委員会
12月2日(金)	都市建設委員会 文教児童委員会
12月7日(水)	議会運営委員会
12月8日(木)	自治体DX調査特別委員会、 地域・経済活性化調査特別委員会
12月9日(金)	災害対策調査特別委員会、 インクルージョン推進調査特別委員会
12月13日(火)	議会運営委員会
12月14日(水)	本会議

- 会議は議会運営委員会を除き、原則として午前10時に開会予定です。日時は変更となる場合があります。
- 手話通訳は希望日の7日前、一時保育は希望日の10日前、ヒアリングルーム(磁気誘導ループ)の利用(委員会室のみ)は希望日の3日前(土日祝日を除く)までにお申し込みください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴はできる限りお控えください。なお、本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行います。ホームページよりご覧ください。

### 都市建設委員会

●京都府京都市(8月2日)

Park-PFI制度を活用した大宮交通公園の整備・運営について視察を行い、各委員からは民間活力を活用した公園整備を実施した理由などについて質問がありました。

●奈良県生駒市(8月3日)

空き家流通促進プラットフォームの取組みについて視察を行い、各委員からは利用にあたり所有者から同意を得る工夫や空き家の発生予防に効果的な取組みなどについて質問がありました。



### 文教児童委員会

●愛知県名古屋市(7月25日)

部活動の地域移行に向けた取組みについて視察を行い、各委員からは市内全小学校を一者と契約した理由や指導者の確保に向けた取組みなどについて質問がありました。

●岐阜県岐阜市(7月26日)

子どもの権利条例の制定経緯及び支援策について視察を行い、各委員からは子ども・若者総合支援センターが取扱う情報の共有方法などについて質問がありました。



## 可決した意見書

建築物石綿含有建材の事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書(要旨)

現在、危惧されているのが、労働安全衛生法施行令の改正以前に建てられた既存の民間住宅の解体・改修事に伴うアスベスト除去費用の国民負担や健康被害である。

板橋区議会は、政府に対し、次の事項の方策を早急に講じるよう強く要望する。

1 アスベストに係る健康被害・関連法令及び解体等工事に伴うアスベスト調査・除去費用の施主負担に関して、国民にわかりやすく周知すること。

2 国土交通省所管の交付事業である「住宅・建築物アスベスト改修事業」についてレベル3(成形板等)まで補助対象を拡充すること。

令和4年10月11日

## 可決した決議

第26回参議院議員選挙期間中における蛮行に対する非難決議(要旨)

令和4年7月8日の参議院議員選挙の応援演説中に安倍晋三元首相が銃撃され、懸命の救命措置にもかかわらず、逝去された。謹んで哀悼の意を表するものである。

日本は、国民が主権をもつ民主主義国家であり、選挙は私たち国民が政治に参加し、その意思や意見を反映する極めて重要かつ基本的な機会である。民主主義の根幹をなす選挙が行われている中で、断じて許すことはできない。

板橋区議会は、今回の卑劣な蛮行を最大限に非難するとともに、民主主義が確固たるものであることを改めて強く決意するものである。

令和4年7月22日